

# 第1学年国語科学習指導案

日時 平成27年11月19日(5校時)  
学級 金ヶ崎町立金ヶ崎中学校1年4組  
男子15名 女子16名 計31名  
授業者 教諭 伊藤 彩

## 1 単元名

新聞で紹介する「少年の日の思い出」

教材名

「少年の日の思い出」ヘルマン＝ヘッセ(新しい国語1 東京書籍)

## 2 単元について

### (1) 教材について

本単元は、学習指導要領の〔C 読むこと〕「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。」と「エ 文章構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」に基づいて設定したものである。

文学的文章「少年の日の思い出」は、「客」が自分の少年時代の話を始める場面から始まり、少年だった「僕」つまり「客」が蝶の収集をつぶしてしまう場面で終わる。場面展開の特徴や、登場人物それぞれの立場に着目することで、読むたびに様々な発見をすることができる物語である。

本単元は、単元を貫く言語活動として「新聞で紹介する」ことを設定した。〔C 読むこと〕の「ウ」「エ」の力をつけるために、生徒は3つの記事を書く。1つ目は、登場人物へのインタビュー記事である。2つ目は、畳記事である。この2つの記事を通して、展開や登場人物の描写に注意して文章を読み、登場人物の心情や言動の意味について読みを深めることをねらいとしている。3つ目の記事は、コラム記事である。物語の構成を捉え、その効果について意見をもつことをねらいとする。

### (2) 生徒について

#### ア 既習事項について

生徒は今年度、文学的文章の学習において「遠い山脈」と「さんちき」の2つを既習している。「遠い山脈」では帯づくりを行い、印象に残った言葉を見つけたり、キャッチフレーズを作ったりしながら作品を読んだ。「さんちき」では、「遠い山脈」でつけた力を生かし、紹介文を書くという活動を行った。作品で描かれている時代や文化について読み取ったり、登場人物の言葉を引用したりしながらどんな人に作品を読んでほしいか文章にまとめた。どちらも、教科書教材にとどまらず、生徒のお気に入りの本について活動を広げ、普段の読書生活につなげようと指導してきた。

〈平成27年度岩手県中学校新入生学習状況調査 岩手県と学年・学級の正答率比較〉

調査問題のねらい等	小問正答率 (県)	小問正答率 (金ヶ崎中1学年)	小問正答率 (1年4組)
場面の移り変わりに気をつけながら読むことができる。	77.5%	80.5%	90.3%
登場人物の気持ちを考えながら読むことができる。	87.0%	85.7%	90.3%
登場人物の相互関係をとらえて読むことができる。	62.0%	61.7%	45.2%
場面の描写と登場人物の様子をとらえて読むことができる。	51.7%	45.5%	58.1%
登場人物の気持ちの変化をとらえて読むことができる。	84.4%	86.4%	77.4%

表から、「登場人物の相互関係をとらえて読むことができる。」という項目が、県と比較し、マイナス16.8%と、とても苦手であることがわかる。また、「登場人物の気持ちの変化をとらえて読むことができる。」という項目も、マイナス7.0%であり、本校の1学年の正答率が県を上回っていることに対して、本学級が苦手としている項目であることがわかる。

#### イ 学習アンケート（国語授業について 1年4組 27年6月実施）

質問事項	肯定的回答の割合(%)	
	とても	やや
1. 学習課題が明示されていますか。	90.3	9.6
2. 授業を通して、何について学習するかがわかりますか。	80.6	16.1
3. 授業での先生の説明する内容はわかりやすいですか。	83.9	16.1
4. 授業における板書の内容はわかりやすいですか。	83.9	16.1
5. 授業中の課題や宿題の内容は、自分の力で解くことができますか。	70.9	25.8
6. 学習課題に対して振り返る活動を行っていますか。	74.2	22.6
7. 国語の授業に意欲的に取り組んでいますか。	58.1	38.7
8. 積極的に音読したり、自分の意見や感想を発表しようとしていますか。	54.8	19.6
9. 授業中の発表や発言など、他の人の意見や感想を意欲的に聞き取り、自分の考えを深めようとしていますか。	70.9	19.6
10. 言葉の意味調べや、漢字の読み書き練習を意欲的にを行い、語彙を増やそうとしていますか。	58.1	35.5

概ね肯定的な態度で国語の授業にのぞんでいることが分かる。「8. 積極的に音読したり、自分の意見や感想を発表していますか。」についてポイントが低く、発言する生徒が固定化していることや、自分の考えを発表することを苦手としていることがわかる。

#### ウ 授業の様子

自分の考えを文章に表すことができる生徒が多いが、発言する生徒は限られている。4人でのグループ活動を毎時間設定しているが、グループによって関わり合いのできるところとできないところがあるのが現状である。互いに認め合える授業の雰囲気づくりに努めたい。

#### (3) 指導について

1時間目は、全文を読み初発の感想を書かせる。感想を書かせる際は、登場人物の相互関係や言動の意味など、登場人物に着目させる。さらに、文章構成の特徴についても考えをもたせたい。また、疑問に思ったことも書かせることで、課題設定につなげていきたい。

2時間目は、初発の感想をもとに学習課題を設定する。そして、教師自作のモデル文を提示し学習の計画を立てる。モデル文を分析することで生徒に学習の見通しをもたせるとともに、「新聞で紹介する」という目的をもたせたい。

3時間目から5時間目は、インタビュー記事や豊記事を書くという活動を通し、主要な3人の登場人物の心情に迫らせたい。物語の中心になっている事件（出来事）について、登場人物の心情や、行動の理由を架空インタビューさせることで、本文を深く読み取れるようにしたい。また、主人公が自分の収集した蝶を粉々に押しつぶす最後の場面については、全員に考えさせたい。その行動の理由を本文を根拠に考えさせ、豊記事としてまとめさせる。

6時間目は、構成について考えさせる。小学校5年時に学習した「わらぐつの中の神様」と比較させる。同じ額縁構造をもつ作品であるが、「わらぐつの中の神様」と違い、過去の場面のままで物語が終わってしまっていることに着目させ、その効果についての考えをコラム記事としてまとめさせる。

7時間目には、書いた新聞記事をお互いに読み合い、同じ作品でも、多様な視点が生まれることに気づかせ、自分の読書生活を振り返ることを通して、単元のまとめとしたい。

### 3 単元の指導目標

・文章の展開や登場人物の描写に関心をもって作品を読み、他の生徒が書いた新聞について感想をもととする。 【国語への関心・意欲・態度】

・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、読み取ったことを文章にまとめることができる。  
 ・文章の構成を捉え、その効果について考えをもつことができる。 【読むこと】

・文章中の語句について辞書で意味を調べたり、文脈上の意味を考えたりすることができる。  
 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事を書くことを目的として、文章の展開や登場人物の描写に関心をもって作品を読もうとしている。</li> <li>・他の生徒が書いた新聞を読み、感想をもととしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の心情や言動の意味について記事にまとめている。(1)ウ)</li> <li>・文章の構成を捉え、その効果について自分の考えをまとめている。(1)エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。(1)イ(1))</li> </ul>

### 5 指導と評価の計画（7時間）

時	学習内容	観点			評価規準
		関	読	言	
1	「少年の日の思い出」を読んで感想をまとめ、交流する。語句の意味調べをする。	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を読み、登場人物などについて感想や疑問をもち、交流しようとしている。(関)</li> <li>・使われている語句について調べ、文脈上の意味を考えている。(1)イ(1))</li> </ul>
2	物語の学習を振り返る。学習課題を設定する。学習計画を立てる。インタビューの相手を決める。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師のモデルを参考に、「新聞」を書くことで物語を深く読み取り、紹介するという目的をもととしている。(関)</li> </ul>
3 本時	インタビュー記事を書くために、文章を読み取り、質問する内容を考える。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物への架空のインタビュー記事や畳記事を書くために、登場人物の心情や言動の意味について、記述を根拠に読み取っている。(1)ウ)</li> </ul>
4	考えた質問に答えるために、文章を読み取り、記事をまとめる。		○		
5	「少年」が最後に蝶をつぶしたことについて考え、畳記事としてまとめる。				
6	文章の構成・展開について、自分の考えをもち、コラム記事としてまとめる。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラム記事を書くために、既習の物語教材と比べて読みながら、構成について捉え、その効果について自分の考えをもっている。(1)エ)</li> </ul>
7	書いた新聞を読み合い、様々な捉え方について交流する。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の生徒が書いた新聞を読み、様々な捉え方があることについての感想をもととしている。(関)</li> </ul>

## 6. 本時の指導

### (1) 指導目標

- ・ 叙述を根拠に、「僕」「エーミール」「母」の3人の登場人物の心情を考えることができる。

【読むこと】

### (2) 指導構想

本時は、文章の表現を根拠に、登場人物の心情を考えることが目標である。まず、生徒は1人の記者として質問することを考える。その際、なぜその質問をするのか考えることで、登場人物の心情に迫らせたい。次に、3人の主要な登場人物について、人物ごとのグループに分かれ、それぞれ質問したいことを考える。グループで選んだ質問を発表し合い、なぜその質問を選んだのか、理由を全体で交流する。質問する相手が異なることで、様々な視点から物語を読み取れることを意識させたい。また、単なる想像での答えでなく、記述から根拠をもって考えさせることを特に注意して指導したい。

### (3) 本時の評価規準

観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への手立て
読む能力	架空のインタビュー記事を書くために、登場人物への質問を考え、登場人物の心情を、記述を根拠に読み取っている。	架空のインタビュー記事を書くために、登場人物への質問を、記述を根拠に考えている。	登場人物の記述を根拠に、どんな心情が読み取れるか考えさせ、どんな質問があったらよいか考えさせる。

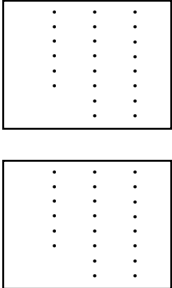
### (4) 本時の展開

段階	指導内容	学習活動	指導上の留意点及び評価 ★評価 ◎手立て
導入 8分	0. コラムを読む(5分) ※毎時間行っている  1. 単元のゴールと本時のゴールの見通しを立てる。  2. 学習課題の設定	・ 時事問題についてのコラムを読み、関心をもったことについてグループで交流する。  ・ 学習の目的を考え、本時の見通しを立てる。	・ 5分間の中で読む・交流する活動を行わせる。  ◎教師のモデル新聞を参考に、インタビュー記事を書くことを示す。
	学習課題	インタビュー記事を書くために、登場人物への質問を考えよう。	
展開 35分	3. 前時に決定した登場人物に対する質問を、個人で考える。(10分)  4. グループで質問したいことを交流し、1～2つに絞る。(10分)	・ 課題を音読する。  ・ 質問する相手 ①加害者の「僕」 ②加害者の「僕」の母 ③被害者の「エーミール」 の3人の中から1人を選択し、質問したいことを3つ以上考える。  ・ 質問する相手が同じ人どうしのグループで、 ①どんな質問をしたいか。 ②なぜその質問を選んだか。 の2点について交流し、ホワイトボードに選んだ質問を書く。	◎質問することは、 ① ~の時、どんな気持ちだったか。 ② ~したのはなぜか。 の2種類とする。  ◎「この質問は欠かせない」という質問に絞らせ、その根拠を発表できるように準備させる。

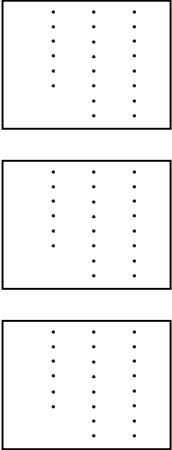
	5. 全体で交流する。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループで出た質問と、なぜその質問を選んだのかを交流する。</li> </ul>	◎記述を根拠に発言させる。
		<p>★架空のインタビュー記事を書くために、登場人物への質問を、記述を根拠に考えている。〔読〕方法：教科書・ワークシートの記入、グループ・全体交流の観察。</p>	
終末7分	6. 次時の学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時は、実際にインタビュー記事を書くことを全体で確認する。</li> </ul>	◎本時を受けて、質問する相手を変更しても良いことを伝える。
	7. 本時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時を振り返り、次時に向けて、決定した質問事項を振り返りシートに書きとめる。</li> </ul>	◎振り返りシート

(5) 板書計画

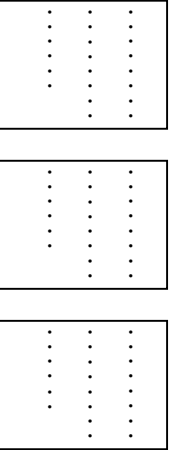
「母」グループ



「エイミール」グループ



「少年」グループ



この質問は欠かせない！

少年の日の思い出 ヘルマン・ヘッセ

学習課題

インタビュー記事を書くために、登場人物への質問を考えよう。

《質問の形》

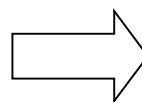
① どの時、どんな気持ちだったか。  
(どんな気持ちでしたか。)

② したのとはなぜか。(なぜしたのか。)

※ 小学校での学習との関連図

【小学校第5学年及び第6学年】

- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。(C(1)エ)
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。(C(1)オ)



【中学校第1学年】

- 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。(C(1)ウ)
- 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。(C(1)エ)